

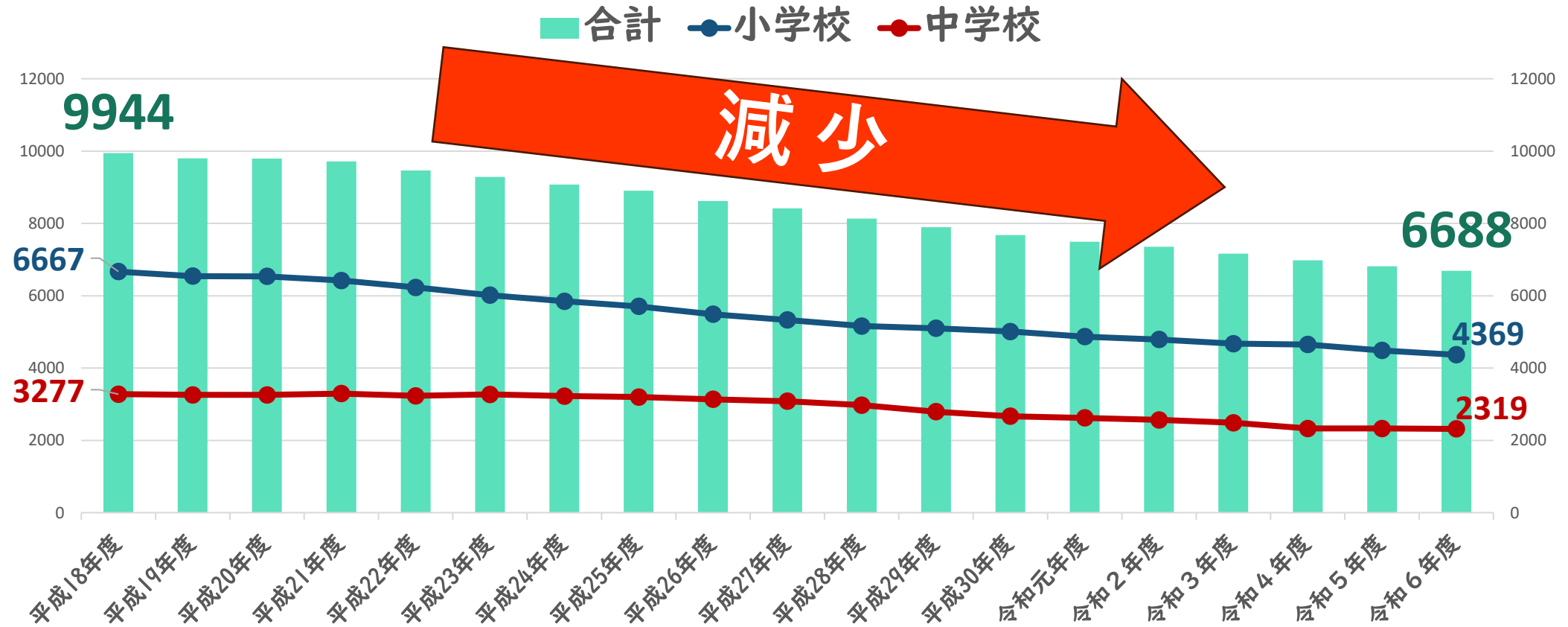
(1) 学校部活動の地域展開

筑西市教育委員会

令和7年3月

学校部活動の地域展開

筑西市の児童生徒数



少子化の影響で部員が減りチーム編成ができない。

学校部活動の地域展開

なぜ、学校部活動を地域へ

- 休部や廃部により、通学する学校に自分のやりたい学校部活動がない。
- 学校部活動に対する子どもたちのニーズが多様化している。
【多様なニーズの例】：「楽しく活動したい」「大会で結果を残したい」
「スポーツも文化活動もやりたい」「上達したい」など
- 経験や指導歴のない先生が学校部活動を担当している。

<このような学校が増えています！>

学校部活動の地域展開

子どもたちに豊かで幅広い活動を！
令和8年度から休日の学校部活動を
地域クラブ活動に転換します。

子どもたちが生涯にわたってスポーツ・文化芸術活動に親しみ続けるために、休日の学校部活動の地域展開を進めていきます。

学校部活動の地域展開

地域クラブ活動とは・・・

地域のクラブチーム、民間事業者、文化芸術団体、保護者等による地域が中心となっで行う活動です。

学校部活動の地域展開

< 学校部活動と「地域クラブ活動」の違いについて >

学校部活動

- ・ 学校が主体となっていて行われる部活動
- ・ 教職員が顧問として監督、指導を行う
- ・ 学校教育の一環（学校管理下）
- ・ 日本スポーツ振興センター災害共済給付
- ・ 費用は部費、保護者会費



地域クラブ活動

- ・ 地域が主体となっていて行われる活動
[クラブチーム、文化芸術団体、保護者など]
- ・ 地域の指導者が監督、指導を行う
- ・ 社会教育の一環（学校管理下外）
- ・ 多世代・多種目な活動
- ・ 学校の施設、市民体育館、公民館など、多様な場所で実施
- ・ スポーツ安全保険等に参加
- ・ 費用は受益者（参加者）負担



学校部活動の地域展開

地域展開のメリット

- 「楽しんでやりたい」「競技力の向上をめざしたい」「複数の活動に取り組みたい」など、生徒一人一人のニーズに応じた活動を選択できる。
- 地域の指導者から専門的な指導が受けられる。
- 地域の様々な年代の人と交流したり、学校の枠を超えた活動に参加したりすることができる。
- 学校の教育段階にとらわれない継続的な活動（引退のない継続的な活動）ができる。

など

学校部活動の地域展開

地域展開の課題

- ◆ 地域クラブ活動を担う運営団体・実施主体の体制整備
- ◆ 指導者の質の保証・量の確保
- ◆ 活動場所の確保
- ◆ 学校部活動の受け皿となる地域団体が不足
- ◆ 児童生徒、保護者等の関係者の理解促進
- ◆ 子どもたちの居場所が減る
- ◆ 活動費や送迎などの保護者の負担増
- ◆ 指導の過熱化
- ◆ 平日の学校部活動との連携
- ◆ 大会やコンクール等への参加について など